

# 代表樹種 ハナミズキ



【撮影場所;小倉北区堺町「小倉中央小学校」】

ミズキ科 ハナミズキ(花水木) <別名//アメリカヤマボウシ> 落葉広葉高木 樹高5~10m

アカバナとシロバナが一般的でピンクもある。春に続いて夏の緑、秋の紅葉、赤い実、冬木立と春夏秋冬を通じて観賞できる樹木である。樹高は5~10mとされているが、かなりの高木(高さ、葉張りとも)に成長する。北九州市では大半の樹齢が若いので大型樹は今のところ見られない。開花時期はソメイヨシノに続くが桜に比べ開花期がやや長く、また咲き揃うのにかなりののぼらつきが見られる。しかし花期が長いので最盛期は艶やかである。花卉に見える苞は7~8cmにもなり、一層華やかになる。花木の中でも花期が長く、並木として利用した場合樹姿のぼらつきが少ない。



果実と翌春の花芽



花びらのように見えるものは大型の苞(ハウ、苞は苞葉ともいう)、または総苞。



樹勢が十分になると花が樹冠を覆うようにびっしりつく。落花前に微紅色になるのはヤマボウシと同じ。

街路樹としての代表的路線

小倉北区 小倉駅大門線、室町15号線

小倉南区 徳力南方線、南方朽網線